

平成23年度 稲武地区の概要



「大井平公園の紅葉」

【目次】

- 1 稲武地区のプロフィール・・・・・・・・・・ 1
- 2 平成23年度重点目標・・・・・・・・・・ 2
- 3 稲武地区の特色・・・・・・・・・・ 3
- 4 稲武地区みどころ・・・・・・・・・・ 11

豊田市稲武支所

第1 稲武地区のプロフィール

1 地 勢

- ・木曾山脈に属する段戸山系の高い山々が南部に連なり、矢作川水系の名倉川、黒田川、野入川、段戸川の諸河川はこれらの山々を源とし、北に向かって流れ、矢作川に注ぐ南高北低のやや菱形の形をしている。
- ・東西に伸びる国道153号と南北に伸びる国道257号が中央部で交差し、三河山間地における交通の要衝となっている。
- ・標高は、北部の低地域で320m、中央丘陵地域で500m、周りは、800～1,000mの高い山々に囲まれている（最高地点は天狗棚の1,240m）。
- ・北は岐阜県恵那市と、東は長野県根羽村と接している。

2 支所の位置

- ・東経137度31分 ・北緯 35度13分 ・標高 505.2m

3 人口・世帯数

人 口			世帯数	年齢階級別			面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
計	男	女		0～14歳	15～64歳	65歳以上		
2,723	1,318	1,405	1,025	223	1,460	1,040	98.63	28

※平成23年4月1日現在。人口は外国人を含む総人口。

4 人口の推移

単位：人

年	S20	S30	S40	S50	S60	H2	H7	H12	H17
人	6,153	5,961	4,918	3,881	3,660	3,511	3,313	3,111	2,928

※国勢調査。

5 産業別従業者数

単位：人・%

区分	農業	林業	漁業	一次計	鉱業	建設	製造	二次計
人	199	6	-	205	3	185	313	501
割合	13.0	0.3	0.0	13.3	0.2	12.0	20.4	32.6
区分	電気ガス他	運輸・通信	卸小売	サービス	公務	三次計	その他	合計
人	6	28	169	557	61	821	9	1,536
割合	0.4	1.8	11.0	36.3	4.0	53.5	0.6	100.0

※平成17年国勢調査。

6 土地利用状況

単位：ha・%

区 分	宅 地	田	畑	森林	道 路	その他	合 計
面 積	90	145	135	8,586	257	650	9,863
割 合	0.9	1.5	1.4	87.0	2.6	6.6	100.0

※平成16年土地に関する統計年報（愛知県地域振興部）。

第2 平成23年度重点目標

【重点取組項目】

1 どんぐりの里整備事業の推進

大井平公園施設整備事業、どんぐりの湯リニューアル工事により地域振興の拠点を整備・確保し、まちなかの回遊性を高め、行政と地域住民との共働による事業推進により、地区の活性化を図る。

2 財産区まちづくり支援条例の適切な運用

自治区が自主的に行う公共的事業、市行政に対する協力事務及び住みよい地域とするために自治区それぞれが課題の解決に取り組む事業を遂行するにあたり、財産区の財産を活用して、自治区住民の経済的負担を解消し、自主的な生活環境の維持保全及び向上を図る。

3 地域生活交通確保に向けた取り組みの推進

高齢者、障がい者など交通弱者対策、おでかけ予約バスの導入によるデマンド効果の検証とバス停増設などを検討する。また、生活交通利用促進委員会による地域に密着した利用促進策の検討を行う。

4 交流館(支所)の活用に対応した施設配置の再構築に向けた検討推進

H22年度に稲武交流館が設置されて施設利用が増え、また支所内にある足助消防署稲武出張所が移転(H25.4月)するため、施設利用者の利便性を考慮し支所・交流館事務所の位置を始めとして、望ましいワンストップサービスの実現のためにその他各種団体も含め再度敷地内全体の利用計画を検討する。

H23 レイアウト案作成

H24 改修設計

H25 改修工事

【課題懸案事項】

1 地域自治システム(地域予算提案事業)の活用

2 過疎・定住対策の実践

3 観光誘客推進体制の充実

4 CS(市民満足度)向上活動の推進

第3 稲武地区の特色

1 豊田スタジアム冬芝育成ほ場

(1) 経過

- ・豊田スタジアムのピッチは冬用芝と夏用芝を張り替え使用しているが、いずれの芝も張替時に廃棄していた。
- ・冬用芝を夏季の間育成し、再利用できるほ場の適地が市内の稲武地区にあり、試行的に平成17年6月から冬用芝の育成を行った。
- ・芝育成が好調なことから、新たに約2haのほ場を2か年（平成20～21年）かけて整備しており、豊田スタジアム用芝を全面的に供給し地域の雇用の場となっている。

(2) 稲武ほ場概要

- ・所在地：豊田市小田木町地内
- ・土地所有者：小田木財産区
- ・面積：42,739 m²



2 帰農者滞在施設

(1) 目的

- ・都市と山村の交流促進及び遊休農地の有効利用による山村の活性化。

(2) 施設の概要

ア 建物の構造、延べ床面積

- ・木造一部2階建 12棟（夏焼町7棟、野入町5棟）
- ・43.74 m²（1階29.16 m²、2階14.58 m²）×12棟≒525 m²

イ 貸付農地

- ・夏焼町7棟、野入町5棟の滞在施設に貸付農地（約1a／戸）を整備

ウ 総事業費等

- ・総額 139,249,950 円

エ その他

- ・国庫補助事業として整備を実施

＊事業名：新山村振興等農林漁業特別対策事業

＊補助率：1／2以内

オ 供用・利用開始 平成18年4月1日

(3) 選考方法

申込者から利用計画書の提出を求め、審査会により選考



(4) 使用料 (年額)

- 夏焼みどりのふるさと村 (7棟) 280,000 円(汚水処理費含む)
 - 野入みどりのふるさと村 (5棟) 270,000 円
- (両ふるさと村の農地として1区画120㎡を年額1,200円で貸付)

(5) 利用期間

4月1日～翌年3月31日の一年間 *最長5年間の継続可

(6) 施設の利用状況 (平成23年度)

- ア 利用者数 : 12戸(内訳) 豊田市内4戸、名古屋市5戸、安城市1戸
岡崎市1戸、豊川市1戸
- イ 利用者促進講習会: 6回予定

3 どんぐり工房

(1) 施設概要

- ア 敷地面積 887㎡
- イ 延べ床面積 257㎡
- ウ 総事業費 95,008千円
- エ 大野瀬町に残っていた明治12年建築の民家を移築し、平成17年4月20日に開館した。



(2) 目的

地域の活性化を目的に、郷土料理づくりなどの体験プログラムを通じ、都市と山村の交流を促進する。

(3) 施設管理

- ア 指定管理者: いなぶ観光協会
- イ 委託費: 6,633,000 円 (平成23年度協定額、消費税込み)
- ウ 体験指導: 稲武山里体験推進協議会
- エ 体験プログラム: 五平餅づくり体験他約40プログラム

(4) 入館者数 (平成22年度)

施設利用者: 2,024 人(うち体験利用者: 674 人) 施設見学者: 3,669 人

4 面ノ木風力発電所

(1) 施設概要

- ア 定格出力 1,800kW (600kW×3基)
- イ 風車の直径 44m
- ウ 風車の高さ 68m (羽根先端までの高さ)
- エ 発電開始風速 2.5m/秒
- オ 定格出力風速 12.5m/秒
- カ 風車機種 ドイツ・エネルギーコン社製



キ 総事業費 579,215,701 円
 ク 売電開始 平成17年2月19日

(2) 施設管理 (保守点検)

ア 電気設備 電気主任技術者、(財) 中部電気保安協会
 イ 風車設備本体 (株) 日立エンジニアリング・アンド・サービス

(3) 稼動実績 (平成22年3月～平成23年2月分)

ア 平均風速 5.5m/秒
 イ 売電電力量 2,284,322 kWh
 ウ 売電収入 26,774,404 円 (前年比: 1.9%増)

(4) その他

・売電単価 11 円 20 銭 / kWh (中部電力 (株))

5 どんぐりの湯

(1) 施設概要

ア 敷地面積 5,225.37 m²
 イ 延べ床面積 2,691.75 m²
 ウ 総事業費 1,641,997 千円
 エ 供用開始 平成10年4月3日
 オ リニューアル工事 平成22年度～平成23年度 (継続事業)
 522,000 千円 (予定)

(2) 運 営

ア 指定管理者 (株) どんぐりの里いなぶ (平成17年1月より)
 イ 委託費 143,189,000 円 (平成23年度協定額、消費税込み)

(3) 利用実績

ア どんぐりの湯 単位: 人、千円

平成年度	16	17	18	19	20	21	22
客 数	177,365	162,104	148,201	135,817	137,297	129,032	83,928
収 入	100,597	90,100	84,946	77,486	78,497	73,154	47,455

※千円未満切捨て

イ どんぐり横丁

平成年度	16	17	18	19	20	21	22
客 数	353,569	420,476	460,236	456,571	491,982	511,886	454,795

(4) その他

・道の駅「どんぐりの里いなぶ」と併設

6 大井平公園「風のつり橋」

(1) 施設概要

ア 構造	単径間無補剛吊橋
イ 全長	L=86.0m (橋部 53.0m 木道 33.0m)
ウ 有効幅員	W=2.0m
エ 高さ	約 13.0m (水面から床版まで)
オ 塔柱	右岸側 H=13.0m 左岸側 H=3.5m
カ 主索径	φ47.5mm
キ 床版・欄干	木製 (三河産杉使用)



(2) 経過

- ・「どんぐりの里整備計画」の一部として、平成16年に整備計画を策定。
- ・平成17年8月から設計、平成20年12月より工事に着工し、平成22年10月完成。
- ・平成22年10月31日に完成式（渡り初め）を開催。

7 稲武地域会議

(1) 役割

- ・地域の課題や、まちづくりについて話し合い、地域でできることは何か、住民参加のもとにどう解決するかを検討する。
- ・市長から地域の重要な行政施策について諮問をうけた場合、審議・答申します。
- ・わくわく事業の審査会を開催します。

(2) 委員 19人

(3) 会議開催 (22年度)

- | |
|--------------------------------|
| ア 地域会議：16回開催、分科会7回 |
| ・先進地視察：1回実施
(岐阜県中津川市加子母) |
| イ わくわく事業 (23年度) |
| ・募集期間：
3月1日 (火) ~ 3月31日 (木) |
| ・審査会：4月23日 (土) |
| ・活動発表会：平成24年3月 (予定) |
| ・申請件数：
12件 ⇒ 交付決定：12件 |
| ・交付決定額：4,942千円 |

23年度 わくわく事業団体名
「よいとこいなぶ」踊り連
バスまちサロン会
わくわく中当がんばろまい会
J. S. C稲武
たちあがれ「梨野」
読みきかせグループ「竹の子」
稲武地球子屋
稲武検定推進委員会
稲武ドリームズ
まゆっこクラブ
体力アップ事業有志の会
小田木花街道をつくる会

ウ 地域予算提案事業

- ・名倉川景観整備事業
- ・花街道「いなぶ」プロジェクト
- ・棚田を活かしたまちづくり事業
- ・芸術を活かした地域おこし事業

8 コミュニティ会議の設立・運営支援

(1) 経過

地区区長会を中心に地区内関係団体・機関に構成委員を要請し、設立。

(2) 設立

平成18年4月30日

(3) 部会

スポーツ部会・青少年育成部会・環境部会・広報部会・福祉部会・文化部会

(4) 22年度の主な活動

4月20日：稲武地区コミュニティ会議各部会開催

4月20日：各部会后総務会開催

7月4日：美里地区交流事業（青少年育成部会）

7月11日：稲武地区バレーボール大会（スポーツ部会）11チーム参加

7月24日：社会を明るくする啓発活動（青少年育成部会）

8月1日：環境パトロール活動（環境部会）

8月15日：稲武まつり夜間巡視（青少年育成部会）

9月12日：ストーリーテリング（文化部会）

10月17日：稲武地区ゲートボール大会（スポーツ部会）25チーム参加

10月26日：足助病院 医療講演会（福祉部会共催）

11月7日：施設見学・環境学習会（環境部会）エコット、自然観察の森他

12月26日：ウィンターコンサート（青少年育成部会）

1月3日：稲武地区新成人を祝う会（青少年育成部会）36人参加

2月6日：もちつき大会（青少年育成部会）

2月20日：稲武ドッジ（スポーツ部会）14チーム参加

3月27日：保険と健康講座（スポーツ部会）

5月、6月、8月、11月、1月に広報紙を発行（広報部会）

9 小中学校統合

(1) 稲武中学校（昭和22年開校）

- ・昭和39年4月1日：押川分校統合
- ・昭和47年7月1日：大野瀬分校統合

(2) 稲武小学校（昭和57年開校）

- ・昭和57年4月1日：稲橋小学校・同野入分校・押川小学校・黒田小学校の3校1分校を統合
- ・昭和59年4月1日：大野瀬小学校・小田木小学校の2校を統合

(3) 通学バス

- ・統合の地元条件として通学バス運行があり、名鉄バス（路線バス）による対応をした（全額補助）。以後、町営バス、市営基幹バス及び地域バスで対応。
- ・対象地区は、大野瀬町・押山町・小田木町・川手町・黒田町・富永町・野入町。ただし、黒田町・野入町（中当町）の中学生は自転車通学としている。

10 地域バス（稲武バス）

(1) 運行の経緯

- ・稲武町が年間42百万円の赤字補填していた名鉄バスの足助線、根羽線、押山線の3路線が平成11年9月30日に廃止され、また平成11年3月31日に廃止された田口線は平成11年4月1日より「設楽町営バス」が稲武町まで乗り入れて運行された。
- ・平成11年10月1日に名鉄バスに代わって、通園・通学、通院、買い物など欠かすことのできない交通手段として愛知県過疎バス路線維持費補助金を受け「稲武町営バス」運行を開始した。
- ・運行方法は、経費を低く抑えられる自主運行（道路運送法第80条許可）を選択。
- ・運行路線は、国道153号・257号に合わせた名鉄バスの十字方向路線を引き継ぐとともに、独自に足助病院まで乗り入れた。
- ・平成18年10月1日稲武・足助線の朝の便が満杯のため1便増。
- ・平成19年11月1日基幹バスの運行開始に合わせ、どんぐりの湯前までの乗り入れ、地域バスの再編を行い運行本数を増便する。
- ・平成20年9月1日豊栄交通㈱を運行主体とする道路運送法第4条での運行を開始。既存の根羽線、押山線に加えて、稲武地区の各集落を曜日ごとに運行する路線（一部デマンド）を導入した。
- ・平成23年4月1日地域バスで「おでかけ予約バス」の運行を開始。

(2) 運行状況

ア 基幹バス（おいでんバス）

- (ア) 車 両：ワンマンバス 56人乗り2台
79人乗り1台

(イ) 運行本数

- ・稲武足助線：稲武一足助病院前（11往復）



- (ウ) 料 金：乗車距離により 100 円～600 円
*稲武⇄足助病院（大人）600 円

イ 地域バス（どんぐりバス）

- (ア) 車 両：ワンマンバス 36 人乗り 2 台
ハイエースロング 12 人乗り 1 台
ハイエース 8 人乗り 1 台

(イ) 運行本数

- ・根 羽 線：稲武—上郷（4 往復）
稲武—根羽（3 往復）
- ・押 山 線：稲武—押山（7 往復）
- ・稲武地区集落間路線（各路線週 1 日運行）：
川入線、河上瀬線、大桑線
- ・稲武地区全域（旭地区田津原町含む）で、おでかけ予約バスを月・水・金曜日運行。

- (ウ) 料 金：乗車 1 回 200 円、小人 100 円



1.1 ふれあい協定

(1) ふるさと協定

- ・昭和 59 年 6 月 4 日、名古屋市・稲武町が締結。
- ・名古屋市が、昭和 41 年 10 月に稲武町に開設した名古屋市稲武野外教育センター利用生徒が 50 万人に達したことを記念し、今後さらに理解と協力を深め「都市と山村の共栄の道をひらくため」に締結された。

(2) ふれあい協定

- ・昭和 61 年 10 月 24 日、名古屋市・中津川市・稲武町が締結。
- ・名古屋市が、中津川市に開設した名古屋市中津川野外教育センター利用児童が 50 万人を超えたことをきっかけに締結された。
- ・協定内容は、「稲武町・名古屋市・中津川市は、野外教育を通じて結ばれたきずなをさらに強め、三市町の友好親善と相互理解を深める」もので、先の「ふるさと協定」をさらに発展させ、相互交流を深めることを目的とした。
- ・現在、豊田市・名古屋市・中津川市による協定として引き継がれている。



(3) 参 考

ア 名古屋市稲武野外教育センター（稲武町）

宿泊棟：3棟（740人収容）、

多目的ホール（ドーム型）：1,722㎡、

キャンプ場：3か所、テント98張

※平成17年度に、利用生徒が100万人を突破



イ 名古屋市野外学習センター（富永町）

陸上競技場：400m6コース（サッカー・ラグビー併用）、野球場：2面、

体育館：アリーナ面積1,200㎡、テニスコート：12面、宿泊棟：7棟、

キャンプ場：テント32張、食堂棟：最大500人

1.2 財産区

(1) 経 緯

- ・明治22年以前には13の村があり、地方行政整備により稲橋村・武節村の2村に、昭和15年5月10日に稲武町となった。財産区は、地方行政整備以前の13の村名をそのまま引継ぎ、現在の財産区名となっている。

(2) 管 理

- ・財産区の管理者は「豊田市長」であり、12財産区が議会制、1財産区が総会制をとり、各財産区の予算・決算・業務内容は各財産区議会（総会）に諮られ決定する。
- ・事務は稲武支所が行い、会計は出納室が行う。

(3) 区 域

- ・財産区の区域は13自治区域がそのまま13財産区域であるため、自治区に住所を有する者は同時に財産区民となる。
- ・財産区は、6人（区域内人口200人未満）・8人（区域内人口200人以上）の区議会議員を選出し、財産保全管理をしている。

(4) 経 費

- ・議員報酬は年間16千円／人で、財産保全管理にかかる必要経費は、財産区の会計から歳出される。

(5) 財 産

- ・財産区有財産の主なものは山林で、稲武地域の山林の約7割が財産区有林となっており、山林管理は一部割山制度により区民が管理している。

稲武地区のみどころ



① 4月 シダレザクラ (瑞龍寺)



② 4月 ミズバショウ (野入町)



③ 5月 シャクナゲ (大井平公園)



稲武地区キャラクター
「グリップピー」

③ 5月 子持ち桂 (大野瀬町)



④ 5月 新緑 (押川大滝)



⑤ 7月 ラベンダー (道の駅「どんぐりの里いなぶ」)



⑥ 7月 ブルーベリー (野入町, 大野瀬町)



⑦ 8月 オオキツネノカミソリ (稲武町)



⑫ 11月 紅葉 (大井平公園)



⑨ 12~2月 水瀑 (稲武町)



⑩ 12~2月 樹氷 (面ノ木)



⑪ 10月 赤ソバ (桑原町)



⑬ 8月 フナの原生林 (面ノ木)

